

区役所移転 を考える

道路の反対側に区役所移転？ いったいなぜ？

今回の定例会に区役所の位置を現在の中野体育館の場所に変更する条例が提出され、日本共産党は反対しましたが、自民・公明・民進等の賛成によって可決されました。この条例をどう考えたらよいのでしょうか。

再開発用地確保 のための移転

区役所は地方自治法の定めにもあるように（※資料参照）、住民の利便を最優先に考えなければなりません。しかし、中野区役所を移転をするという話になったのは、サンブラザと区役所の土地で再開発をすると構想されたためです。つまり「再開発の邪魔になるから移転してしまおう」ということです。

整備費約221億 円はどこから？

費用の面でも、約221億円の区役所建設資金は今後の区役所とサンブラザの土地売却のお金を充ててを見込んでいます。売ってもいない土地のお金を充てにするなど不透明な部分が大きすぎます。



再開発に合わせこのように移転する

※資料／地方自治法 第四条二項「住民の利用に最も便利であるように、交通の事情、他の官公署との関係等について適当な考慮を払わなければならない」



現在の区役所
駅前の便利な立地。耐震性に問題もない

羽鳥だいすけ区議会日誌

- ① 2月20日/本会議 浦野区議への区長答弁で「これまでの経済政策で雇用環境や企業収益が改善」と国民の暮らしに目を向けず。
- ② 2月21日/本会議 いさ区議への答弁で認可保育園の不承諾（一次募集）が933人に上ることが明らかに。
- ③ 3月1日/予算特別委員会 特養ホームなどの整備が事業期間目標の3分の1にとどまることが小杉区議の質疑で明らかに。
- ④ 3月14日/建設委員会 空き家等実態調査の結果が発表。中野区には1033棟の空き家があることが明らかに。南側に比較的多い。
- ⑤ 3月15日/区民委員会 個人番号カードの交付枚数が報告。2月末現在で29600枚で、人口に対する交付率は約9%となった。
- ⑥ 3月27日/本会議 大和・南台保育園を仮設園舎に移設する際には区立のままにしてほしいという陳情が、自民・公明らの反対で不採択に。

鷺宮まちさんぽ

中野で“桜”と言えば、中野通りなどが有名ですが、鷺宮西住宅にある桜も負けていないと思います。ソメイヨシノ3本ですが、満開の時には桜に包まれる景色が楽しめます。



相談・ご意見お待ちしております



生活のこと、地域のこと、
なんでもご相談ください
「はばたき通信」へのご意見お待ちしております。
議員団控室／電話：3228-8873
FAX：3389-8657
携帯電話：090-4607-7889

羽鳥だいすけの 日々雑感

人とともに生きる

誰かのために頑張る自分に変化をしていって、主人公の桐山くんは物語とともに成長して、自分の人生を生きように変化していく姿にはとても感動します。私としては彼に影響を与える二階堂くんが一番のお気に入りです。

★このコラムでは、地域のこと、私のことなど、雑多な中身をご紹介していきたいと思っています。



羽海野チカ
「3月のライオン」

議員団控室 住所：中野区中野4-8-1 電話：3228-8873 FAX：3389-8657 自宅：中野区鷺宮5-14-4みのる荘201

はばたき通信 第15号 発行日：2017年5月12日

日本共産党中野区議会議員 あなたの声を、区政に活かす

羽鳥だいすけの区政報告 No. 15
2017年4月号

はばたき通信



●メールアドレス
hatoridaisuke89@yahoo.co.jp
●自宅
TEL/FAX：03-6677-7404
●議員団控室
TEL：03-3228-8873
FAX：03-3389-8657
●ホームページ
羽鳥だいすけ WEB検索
ツイッター、フェイスブックも
やっています！

第1回 定例会報告

2016年度末の 基金総額は637億円に！

区民施策展開は不十分、 大規模開発・基金積み立ては推進

2017年度予算が自民・公明・民進らによって可決されました。いくつかの施策展開には区民の願いに応えるものはあるものの、全体として大規模開発・基金積み立てを優先する姿勢は変わりません。予算の特徴を見ていきます。

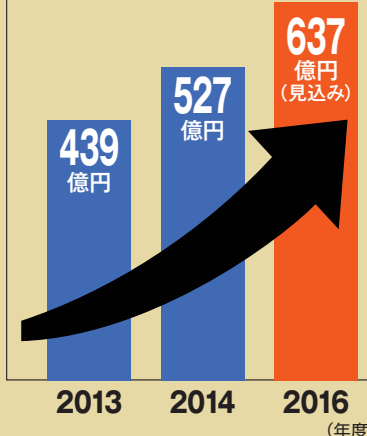


予算への反対討論に立つ羽鳥区議

637億円の 基金残高は 過去最高！

そもそも区は「50億円の税収減が2～3年続いた場合にも施策展開に支障がないようにするため積み立てが必要」と言ってきました。そのことに照らしても基金残高の現状はその目標を達しており、基金の計画的な運用で、区民の願いに応える立場をとることが必要なのではないでしょうか。

中野区の基金総額 (単位：億円)



中野駅周辺では東西南北で再開発が目白押し。2017年度は約12億円の予算が計上されています。

大規模開発

毎年増え続けている区の基金総額は2016年度末で637億円になる見込み。区民のための活用こそ求められています。

ためこみ

待機児童問題をはじめとする区民の切実な願いに応える施策はまだ不十分であり、本気の対策を求めました。

区民施策

大規模開発 優先の姿勢

区は中野駅周辺の各地区の再開発事業をどんどん進めようとしています。しかし中野駅西側南北通路・橋上駅舎の整備では、駅ビル計画に伴い計画の大幅な遅延と費用の増大が見込まれています。区役所・サンブラザ地区では高さ200メートルの超高層ビルと1万人規模のアリーナなど、計画そのものの妥当性も問われなければなりません。



事業者から提案された再開発後の中野駅前の姿

待機児童問題の解決を！

待機児童問題では2016年度の誘致実績が1065人の目標に対して331人増にとどまったことを考えれば、民間誘致のみの方針を改め区立認可園の設置を含めた検討を行うべきです。また全国で広がる就学援助の前倒し支給、保育士の賃金引き上げ策実施など、他自治体でも行っている対策はたくさんあります。



区民の願いに応える区政に

2月28日、予算委員会での総括質疑に立ちました。今回は、①教員の労働環境について、②特別支援教室について、③国民健康保険について、④地球温暖化対策について、⑤ごみ屋敷対策について、を取り上げました。



総括質疑に立つ羽鳥区議

特別支援教室の体制の抜本的拡充を

特別支援教室での支援が必要な情緒障害などをもった子どもたちの数が毎年増えています。質疑の中で、中野区は保護者から相談があった児童やアポロ園に通っていた児童を含め、「小学1年生は年度当初からはどんなことがあっても特別支援教室には在籍させない」という運用をしていることが明らかになりました。



特別支援教室には特別の設備と体制が必要です

年度当初の在籍児童数で先生の配置数も決まるため、年度途中に先生の大変さに拍車がかかる構造になっています。練馬区ではそうならないように、児童が入学する前から教育相談を行い、きちんと先生の体制を整えています。中野区の対応を改めるべきです。



ごみ屋敷対策には福祉分野と連携して

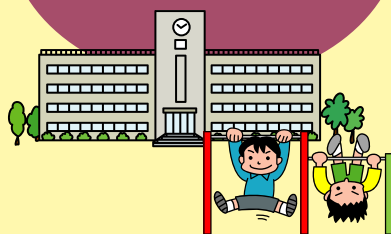
私有地の中にゴミをためこんでしまい、近隣とのトラブルとなる“ごみ屋敷”が様々な地域で問題となっています。“ごみ”をためこんでいる人がためこんでいるものを“ごみ”だと思っていないこともあり、問題の解決には困難もあります。

議会での視察でごみ屋敷条例を制定した足立区にも行ってきました。足立区ではただ「ごみを片付ける」だけでなく、福祉分野とも連携をして、ごみをためこんでしまう根本的な原因を取り除くことにも重点を置いた対策を行っていました。中野区でもそのような視点での対策が必要だと指摘をしました。



ごみの排出にはトラブルがつきもの

大丈夫!? 小学校統廃合



運動場が狭すぎる!

2017年度から統合された3つの小学校(美鳩小・みなみの小・南台小)の新校舎では、文科省が定める運動場の面積基準を大幅に下回ってしまいます。文科省は「基準(1人あたり約10㎡)より低下した状態にならないよう」と定めています。2011年度に統合された平和の森小は運動場が児童1人あたり5.7㎡。

休み時間の運動場利用を規制してなお、衝突事故も発生しています。

美鳩小の新校舎は児童1人あたり4.4㎡となりさらに狭くなります。現状をよく見て、ゆとりある学校施設の整備や少人数学級の拡充を含めた子ども第一の施策を展開していくべきです。

安全な運動場にして下さい。



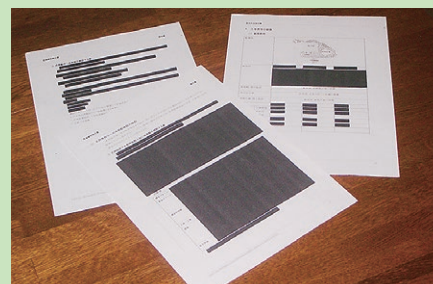
平和の森公園

再整備情報かくし! 「整備費を全面開示すべき」(審査会)

中野区情報公開・個人情報保護審査会による「全面開示すべき」という1月18日の答申により、区が不開示にした情報が公開されました。平和の森公園再整備に関わる業務を受託した(株)日本設計から区への「報告書」の一部です。

そこには区が一度は黒塗りとした概算工事費が示され、当初示した55億円を大きく上回る費用が記されていました。区は、昨年5月のパブリックコメント前に区民と議会に概算費用を示すことができたのにしなかったのです。これは明らかに中野区自治基本条例違反です。

瑕疵があっても改めず、説明責任も果たさないで公園再整備を強行するなど断じて認められません。



金額も図面も黒塗りだらけ。当初中野区から開示された文書の一部

基金の5%活用を!

予算組み替え動議を提出

アベノミクスの下で貧困と格差が広がり、社会保障の切り捨てが進む中、区民に身近な区政の役割はますます重要となっています。年々積み立てられる巨額の基金の一部を活用するだけで、切実な区民要求にこたえていくことは可能です。

中野駅周辺や平和の森公園再整備など区民合意のない大規模再開発は見直し、区がためこんでいる基金の一部を活用し、区民要求実現を目指す予算案の組み替えを求める動議を提出しました。

見直すもの

- ・中野駅周辺再開発 約12億円
- ・平和の森公園再整備 約10億円
- ・区立保育園の民営化費用 約4.5億円 など



予算組み替えをすれば...

実現するもの

- ・小中学校給食費無償化 約6億円
- ・国民健康保険料の1万円引き下げ 約9億円
- ・がん検診無料化 約1億円 など



中野区の基金総額の5%を活用すれば実現できます!

中野区元臨時職員逮捕

—区民の大事な情報 正規職員できちんと対応を—

昨年、中野区の元臨時職員が区内女性宅に暴行目的で住居侵入をしたとして逮捕されました。その個人情報とは当時勤務していた部署において不正に取得したと見られています。絶対に許されることではありません。

区は再発防止策として、個人情報を扱う部署に監視カメラ(100台)を設置するとし、補正予算で3370万円を計上。維持費は年間1千万円以上になります。はたしてこの対策は有効なのでしょうか。

区はこの間、「小さな区役所」を目指すとし、正規職員を大幅に削減。区役所職場はもはや臨時職員を恒常的に入れることなしには業務が回らないほどになっています。区民の大事な個人情報を日常的に扱う必要不可欠な業務であるなら、正規職員をきちんと配置するべきです。

中野区の区職員数の推移

